

公益法人らくらく会計 D4

有限会社シンシステムデザイン
721-0907 広島県福山市春日町6-6-5
084-946-5253 084-946-5254 (F)

<http://ssdesign.co.jp> info@ssdesign.co.jp

特長

- 平成 20 年改正の公益法人会計基準に準じた会計ソフトです。
- 公益法人会計で求められているほとんどの帳票が出力できます。
- パソコンの実行環境を変えないクリーンソフトです。
- 会計事務所との間で連携運用が出来ます。
- 年間使用料方式ですので、リスクの無い導入が出来ます。

会計事務所との連携について

貴法人様の会計指導に限り会計事務所様には無償でソフトの使用許諾をしていますので、次のフォルダを USB メモリー等にコピーして会計事務所に渡します。



これにより

- 紙に印刷してデータを渡す無駄が無くなります。
- 会計事務所では、データ再入力の事務作業が不要になり本来の業務に集中できます。

体験版で試して安心して導入できます。

- 導入指導では、勘定科目の設定を行い繰越金設定・予算設定を行いますので、すぐ伝票が入力できるようになります。
- 運用途中、不明なことがあっても電話・メール等でほぼ解決できます。
- 1年単位のソフトのライセンス購入になりますので、ソフトの使用中止も年単位でなら、いつでもできます。リース契約のような解約違約金等の発生はありません。

ご導入頂いたユーザー様の声は

- とてもシンプルでわかりやすいソフトである (ユーザー多数)
- いろいろなソフトを使っているが特に「一取引一仕訳」の機能が高い。(会計事務所)
- 基本帳票だけでなく摘要名による金額集計やその明細出力など、公認会計士から高く評価された (会計事務所)
- 要望事項がすばやく実現出来るなど満足度の高いソフトである (会計事務所)
- 会計ソフトのフォルダを USB メモリーにコピーするだけで持ち運びが出来るなどたいへん便利 (ユーザー・会計事務所)
- 非営利法人の消費税の本則計算が出来るなど、高い機能を持ったソフトである (ユーザー・会計事務所)

出力帳票

	出力帳票
予算書	当年度の収支予算書 補正予算書（1次から4次まで） 次年度予算書
仕訳	仕訳伝票 仕訳日記帳
総勘定元帳	総勘定元帳 資金収支元帳
試算表	試算表(貸借対照表・正味財産増減計算書・収支計算書)
月別集計	月別残高・累計額集計表
決算書	決算書(貸借対照表・正味財産増減計算書・収支計算書) 財産目録
内訳表	内訳表(貸借対照表・正味財産増減計算書・収支計算書・当年度予算書・次年度予算書)

【補足】

会計基準で求められていない**収支計算書**も作成できます。

予算書は、正味財産増減計算書と収支計算書の両方で作成できます。

実行環境

パソコン	Windows 7 ,vista ,XP ,2000 のパソコン ディスプレイの解像度は 1024*768 以上 表示フォントサイズは標準 (DPI=96)
プリンタ	A4 以上のレーザープリンターまたはインクジェットプリンター
データのバックアップ	USB メモリーまたは MO、外付けハードディスク等
ネットワークの運用は	論理パス名にするとネットワークでも運用できます。
ソフトのインストール	「公益法人会計 C4」のフォルダをローカルディスク C または、マイドキュメントにコピーするだけで実行できます。 他のパソコンで運用したい場合は、「公益法人会計 C4」のフォルダをコピーして移動させてください。
運用上の注意事項	ショートカットをデスクトップに作成する場合、必ずショートカットであることを確認してください。 誤って、実行プログラムのファイルをコピーすると、正常に運用できません。

おもな画面と出力例

予算入力画面

うううう

全科目 収入 支出
 チェックをはずすと合計されません。
 補正額1 補正額2 補正額3 補正4

code	科目名	当初予算	補正額1	補正額2	補正額3	補正額4	予算	前年
	I 事業活動収支の部							
	1. 事業活動収入							
50030	基本財産利息収入							
50040	基本財産配当金収入							
50050	基本財産受取賃貸料収入							
	基本財産運用収入計							
50070	特定資産利息							

- 最初は当初予算に入力します。
- 補正予算は1次～4次まで年4回の補正予算書が作成できます。
- 次年度の予算書も作成できます。

予算書の印刷フォーム例

収支予算書(正味財産増減)

2010年04月01日から
2011年03月31日まで

法人名	公益社団法人 鞆の浦
部門区分	A公益事業

(単位 円)

科目	本年度予算	前年度予算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産受取利息	25,000	0	25,000
基本財産受取配当金	0	0	0
基本財産受取賃貸料	0	0	0
基本財産運用益計	25,000	0	25,000
特定資産受取利息	50,000	0	50,000
特定資産受取配当金	0	0	0
特定資産受取賃貸料	0	0	0
特定資産運用益計	50,000	0	50,000
受取入会金	1,000,000	0	1,000,000
受取入会金計	1,000,000	0	1,000,000
正会員受取会費	13,500,000	0	13,500,000
特別会員受取会費	0	0	0
賛助会員受取会費	0	0	0
受取会費計	13,500,000	0	13,500,000
〇〇事業収益	0	0	0
事業収益計	0	0	0

仕訳の入力

- 借方科目コード及び貸方科目コード欄で、科目コードの上1桁または2桁を入力して、エンターキーを押すと、科目の選択画面が出ますので必要な科目を選択してください。

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
1 55080 事/旅費交通費	50,000	11030 らっこ銀行	50,000	
2 55120 事/消耗品費	6,000	11020 現金	6,000	
3				

- 一度仕訳を行うと、次回よりエンターキーを押すだけで科目や摘要名が選択できますので、使い込むほど便利になります。
- また、毎回同じ仕訳がある場合は入力済みの伝票の雛形登録が出来ますので、たいへん便利です。

以下は出力例のみで、操作画面は省略しています。

総勘定元帳の出力例

科目コード11030

1

総勘定元帳【流動資産合計//現金預金/らっこ銀行/】

2010年04月01日から
2011年03月31日まで

法人名	公益社団法人 鶴の浦
部門区分	A公益事業

日付 伝票番号	相手科目	相手補助科目	借 方	貸 方	残 高
					5,000,000
10/04/01 10001-04	50130 正会員受取会費		1,084,329		
10001-05	50230 受取地方公共団体助成金		127,281		6,211,610
10/04/02 10002-01	55020 事/給料手当			802,599	
10002-03	55070 事/福利厚生費			197,281	5,211,730
		04月計	1,211,610	999,880	5,211,730
10/05/02	50130				

試算表の出力例

試算表 (収支計算書)

理事長	事務長	担当者	2010年07月01日から 2010年07月31日まで		法人名	公益社団法人 駒の浦				
					部門区分	A公益事業				
科 目				予算(A)	前残高	借 方	貸 方	当残高(B)	差異(A-B)	率
I 事業活動収支の部										
1. 事業活動収入										
基本財産利息収入				25,000	6,009	0	2,025	8,034	16,966	32%
基本財産運用収入計				25,000	6,009	0	2,025	8,034	16,966	32%
特定資産利息				50,000	12,714	0	4,228	16,942	33,058	34%
特定資産運用収入計				50,000	12,714	0	4,228	16,942	33,058	34%
入会金収入				1,000,000	263,183	0	80,459	343,642	656,358	34%
入会金収入計				1,000,000	263,183	0	80,459	343,642	656,358	34%
正会員会費収入				13,500,000	3,235,138	0	1,100,292	4,335,430	9,164,570	32%
会費収入計				13,500,000	3,235,138	0	1,100,292	4,335,430	9,164,570	32%
地方公共団体助成金収入				1,500,000	379,028	0	119,240	498,268	1,001,732	33%
補助金等収入計				1,500,000	379,028	0	119,240	498,268	1,001,732	33%
寄付金収入				250,000	65,357	0	18,871	84,228	165,772	34%
寄付金収入計				250,000	65,357	0	18,871	84,228	165,772	34%
利息収入				50,000	12,547	0	3,827	16,374	33,626	33%
雑収入計				50,000	12,547	0	3,827	16,374	33,626	33%
事業活動収入合計				16,375,000	3,973,976	0	1,328,942	5,302,918	11,072,082	32%
2. 事業活動支出										
①事業費支出										
給料手当支出				10,000,000	2,505,822	865,973	0	3,371,795	6,628,205	34%
賞与支出				1,000,000	252,567	82,898	0	335,465	664,535	34%
福利厚生費支出				2,500,000	632,752	200,033	0	832,785	1,667,215	33%

決算書の出力例

2010年度
A公益事業

貸借対照表

2011年03月31日

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,366,517	10,100,000	△733,483
流動資産合計	9,366,517	10,100,000	△733,483
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	30,000,000	30,000,000	0
〇〇基金特定預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
(3) その他の固定資産			
什器備品	6,239,095	5,000,000	1,239,095
その他の固定資産合計	6,239,095	5,000,000	1,239,095
固定資産合計	41,239,095	40,000,000	1,239,095
資産の部合計	50,605,612	50,100,000	505,612

注) 0円金額の科目は非表示にすることも出来ます。

内訳表の出力例

正味財産増減計算書内訳表

2010年04月01日から
2011年03月31日まで

(単位 円)

科 目	部 門	A公益事業	B公益事業	公益事業(計)	C収益事業	D収益事業	収益事業(計)	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産受取利息		24,124	9,797	33,921	9,895	5,097	14,992	0	0	48,913
基本財産受取配当金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取賃貸料		0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産運用益計		24,124	9,797	33,921	9,895	5,097	14,992	0	0	48,913
特定資産受取利息		48,889	19,521	68,410	20,107	9,907	30,014	0	0	98,424
特定資産受取配当金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取賃貸料		0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益計		48,889	19,521	68,410	20,107	9,907	30,014	0	0	98,424
受取入金金		1,006,066	392,302	1,398,368	395,137	195,900	591,037	0	0	1,989,405
受取入金金計		1,006,066	392,302	1,398,368	395,137	195,900	591,037	0	0	1,989,405
正会員受取会費		13,289,037	5,243,673	18,532,710	5,378,012	2,686,213	8,073,225	0	0	26,605,935
特別会員受取会費		0	0	0	0	0	0	0	0	0
賛助会員受取会費		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費計		13,289,037	5,243,673	18,532,710	5,378,012	2,686,213	8,073,225	0	0	26,605,935
〇〇事業収益		0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益計		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫助成金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金		1,480,624	600,040	2,080,664	589,789	295,785	885,574	0	0	2,966,238
受取民間助成金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等振替額		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等計		1,480,624	600,040	2,080,664	589,789	295,785	885,574	0	0	2,966,238
受取負担金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金計		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金		247,747	98,911	346,658	98,016	50,991	149,007	0	0	495,665
募金収益		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額		0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金計		247,747	98,911	346,658	98,016	50,991	149,007	0	0	495,665

新年度更新処理も簡単

- 次の画面でデータベース名を例のように2009に変更して実行するだけで、新年度更新処理は完了します。

新年度更新処理

すべての部門(経理区分)が同時に新年度更新処理されます。

データベース名

前年度 2008¥

↓

新年度 2009¥

新年度のデータベース名を入れてください。

会計期末期日

前年度会計と新年度会計の境になる期日

2009 年 3 月 31 日

実行

キャンセル

会計期末の正しい期日が自動的に出ますが、もし違っている場合はこの処理を中断して、会計期首期日や会計の選択をもう一度、確認してください。

0%

公益法人らくらく会計の概要

1. 単独会計から部門集計まで対応します。
一つの会計ソフトで集計できる部門数は最大 20 部門（内部取引消去を含む）です。また、オプションでは、多階層集計が出来るような構成も用意できますので、事業数の多い公益法人にも対応可能です。
2. H20 年度基準に対応して、部門の区分集計ができます。
3. 仕訳方法は広く知られている複式簿記の仕訳で、収支計算書も作成できます。
複式簿記の仕訳 (B/S 科目と P/L 科目で仕訳) で、貸借対照表と正味財産増減計算書を作成すると同時に、収支計算書 (C/F) も作成できます。
通常の商業簿記の仕訳が出来る方なら誰でも公益法人の仕訳ができます。
4. 仕訳は、一取引一仕訳 で財務諸表を作成します。（繰り返し仕訳などは不要）
財務 3 表型の会計では、一取引で二つの仕訳を行うことが基本ですが、「らくらく会計」では、一取引一仕訳で財務 3 表 (B/S,P/L,C/F) を自動作成します。
5. 仕訳パターンの自動学習機能と伝票の雛形登録で使い込むほど便利に成長します。
一度仕訳を行うと、相手科目とその時に入力した摘要名が自動学習されますので、使い込むほど便利になります。また、給与の仕訳など複数の仕訳がセットになるような場合は仕訳伝票の雛形登録が簡単に出来て、新規入力時に読み出すことが出来ますのでとても便利です。
(訂正モード登録) (新規登録モードで読出)
6. 表計算ソフト「エクセル」にもすべての帳票は出力できます。
エクセル出力したデータはどのように加工しても元の会計データには影響しませんので、独自資料がエクセル上で作成できます。
7. 摘要名による金額集計が出来ます。
通常は、補助科目を設定して金額集計しますが、「らくらく会計」では電気代、水道代、ガス代、事務用品、茶菓子代等約束した摘要名での金額集計が出来ますので、非常に便利です。次の例は光熱水費で摘要名集計を行ったものですが、年間の使用料等がすぐ把握できます。

摘要名	件数	前月残高	借方	貸方	残高
ガス料金	7	60,202	22,431		82,633
水道料	6	169,445	70,968		240,413
▶電気料	14	177,036	79,641		256,677
8. 自由度の高い自動按分処理も出来ます。
部門間の按分比を設定して仕訳入力時に「自動按分」の区分で仕訳を行うと、按分処理が出来ます。按分比は伝票入力後でも変更できますので、自由度の高い自動按分処理を実現します。
9. 消費税の本則計算・簡易計算もできます。
「らくらく会計」では、勘定科目にあらかじめ消費税区分のフラグを設定して仕訳を行うだけで、難解な消費税の本則計算や簡易計算も出来ます。(別途詳細な資料があります)
10. 新年度にはシームレスに移行できます。
新年度になってもそのまま伝票が入力できます。前年度の会計処理が終わって新年度更新処理を実行すると、新しい年度のデータフォルダが自動作成されて新しい年度の会計にシームレスに移行できます。

11. 予算書の機能も充実しています。

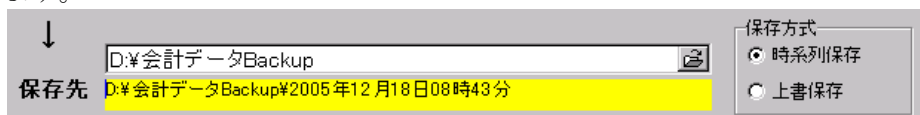
補正予算書は最大 4 回作成できます。補正予算書の作成時と決定時には通常、タイムラグがありますので、下図のチェックボタンで補正後予算への反映の有無が選択できます。また、次年度の予算書も作成できます。

チェックをはずすと合計されません。

補正額1 補正額2 補正額3 補正4

12. データのバックアップも簡単です。

保存先は自由に変更できて、かつ時系列のバックアップコピーも出来ますので安心して運用できます。



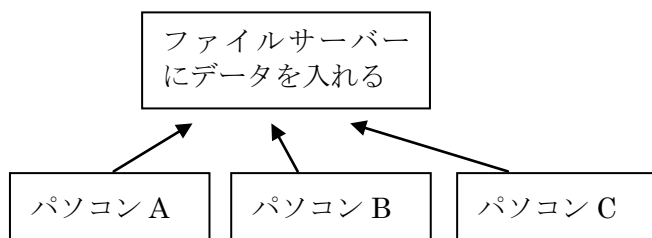
相対パス名で運用している場合は、公益法人会計 C4 のフォルダを USB メモリーなどにコピーして会計事務所様に渡すと、この会計ソフトで指導が受けられます。

13. 前年度の会計データを見たい場合も簡単です。

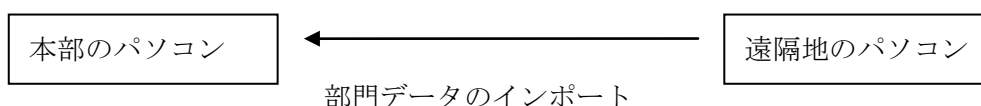
初期設定メニューにあるデータパス名を変更するだけです。

会計の登録&変更に登録しておくことにより簡単に過年度データを見ることが出来ます。

14. 次のようなオンラインネットワークで運用することが出来ます。



15. 次のようなオフラインでのデータのインポートもできます。



勘定科目コード早見表

科目コードは5桁ですが、科目の選択画面で、上2桁の数字を打ってエンターキーを押すとその科目の先頭に飛びます。

11: 流動資産

12: 固定資産

21: 流動負債

22: 固定負債

31: 正味財産

50: 一般正味財産の部

50: 経常収益

55: 経常経費(事業)

56: 経常経費(管理)

61: 経常外収益

65: 経常外費用

70: 指定正味財産増減の部